

年末年始・旧正月における家畜防疫対策の徹底を!

今シーズンも家きん農場及び野鳥で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生が断続的に続いており、油断できない状況が続いています。引き続き念入りな健康観察と病原体侵入防止対策の徹底をお願いします!

さらに年末年始及び旧正月の時期を迎え、人や物の動きが活発になると見込まれるため、引き続き病原体侵入防止対策の徹底をお願いします!

1 海外への渡航自粛

- ・ HPAI発生地域等へ不要不急の渡航を自粛すること。
- ・ 外国人従業員を受け入れている畜産関係者等は、日本への持ち込みが禁止されている肉製品等を海外から持ち込まないこと。



2 病原体の侵入防止

- ・ 衛生管理区域に立ち入る全ての人は車両の消毒、専用の衣服や手袋・長靴の着用、手指消毒等を徹底すること。
- ・ 衛生管理区域及び畜舎に関係のない人が立ち入らないよう、境界を明確にして看板等で注意を促すこと。
- ・ 野生動物侵入防止対策を徹底すること。



3 健康観察・早期発見・早期通報

裏面もあります

★むつ家畜保健衛生所
〒035-0072

電話：0175-22-1254
FAX：0175-22-1259

むつ市金谷二丁目18-25 夜間及び休日の連絡先：090-5841-6810

次のような症状が見られたら速やかに家畜保健衛生所へ！

- * 過去3週間の死亡率と比べて、死亡率が2倍以上になった
2倍未満の場合でも5羽以上まとまって死亡している
- * まとまって嗜眠・沈うつ状態になっている (写真1・2)
- * 皮下出血がある (写真3)
- * トサカや肉垂が暗青色に変化した (写真4)
- * 急激に産卵率が低下した
- * 餌食いが悪い



写真1. 感染し、元気をなくした鶏
(真瀬昌司原図)



写真2. 突然の沈うつ、すぐ死亡
(山口県提供)



写真3. 脚部の皮下出血
(真瀬昌司・谷村信彦原図)



写真4. 宮崎株実験染鳥 肉垂のチ
アノーゼがみられる
(動物衛生研究所提供)